

## 河豚計画

参議院議員  
客員相談役 藤井 基之



冬と言えば、河豚料理。ふぐちり、ふぐ刺し、いいですね。私も大好物です。ふぐ調理師の皆様が腕を振るわれる季節です。

今回のタイトルは「河豚計画」と言っても、このお正月、ふぐ料理で豪華にいかがか、という。河豚計画、ではありません。今から、七十年前、日中戦争の真ただ中、当時の満州国で、関東軍の内部で練られていた幻の「河豚計画」のお話です。以下は、「歴史読本」という雑誌で紹介された外務省大臣官房資料館の白石仁章氏の寄稿から拝借したお話です。

「満州帝国」は、昭和七年、現在の中国の東北地域に、当時の関東軍の主導で建国された国ですが、その中心人物で

あった石原莞爾参謀らの建国の理想は、「王道楽土」、五族協和でした。しかし、関東軍の横暴によってその理想は踏みこじられていったのですが、その関東軍内部で、昭和十三年、十四年頃、ドイツ・ナチスに迫害されていたユダヤ人難民の救済対策が練られていたというのです。その計画が、なぜか、「河豚計画」と呼ばれていたそうなんです。

中心となった人物は、当時の陸軍きつてのユダヤ人問題の研究者、専門家の安江仙弘大佐という人で、石原莞爾と陸士同期であったそうです。昭和二年、安江大佐は、ユダヤ問題の調査のために欧州、中近東に出張し、国を持たないユダヤ人に対する同情的立場を強めました。もち

ろん当時の日本にとって、ドイツは、昭和十五年には日独伊三国協定を結ぶに至る親交国でした。ですから、まさか、という気がしますが、河豚計画は、大連特務機関で作成され、関東軍は基本的に承認しており、陸軍省にも伝えられていたそうです。

当時、ナチスの迫害を受け、ロシアを経て満州に逃れて来るユダヤ難民の人口は、二万人近くに達していました。河豚計画は、これらユダヤ人難民の安住の地を満州国内に造り、受け入れようという壮大なものでした。満鉄調査部の特別調査班の作成したユダヤ難民の受け入れのために必要な面積は、人口二万人の場合三百三十万平米、五万人の場合

合は五百五十万平米、七万人の場合は七百七十万平米というように計算されていました。そしてこの河豚計画実現のために、アメリカのユダヤ系財閥の資金援助も要請され、日本の権威ある筋から提案されれば、という条件付きで理解を得ていたということです。これは、陰悪化しつつあった日米関係を改善するという意味合いもありました。

しかし、日独伊三国協定の締結によりこの河豚計画は破たんしてしまいました

た。安江大佐も失脚、敗戦によりソ連に抑留されたまま、ハバロフスクで生涯を閉じたそうです。この安江大佐の名前は、元リトアニア勤務の外交官で欧州を逃れようとするユダヤ人難民六千人にビザを発給し、救ったことで有名な杉原千畝氏とともに、ユダヤ民族に貢献した外国人の名前を記録した「ゴールデン・ブック」に記録されているそうです。

今、政府は、尖閣問題や北方領土問題など外交問題でなんら有効な手も打て

ず、右往左往、失態が続いています。グローバル時代といいますが、こうした国際的視野をもつ人材の大切さを思いま。中国やロシアに言いたいことも言えず、一方、自衛隊を「暴力装置」などと呼んではばからない官房長官が支配する内弁慶政権で、我が国は大丈夫でしょうか。新しい年を、日本再生のために政治はどうあるべきか、真剣に考える年としたいものです。

### 藤井 基之

- 生年月日 昭和22年3月16日
- 選挙区 参議院比例区
- 当選回数 2回
- 出生地 岡山県岡山市
- 趣味 音楽・読書
- 個人ホームページ

<http://www.mfujii.gr.jp/>

- その他 薬学博士・薬剤師
- 私の政治信条  
私の政策の柱はA(エイジフリー)B(バリアフリー)D(ドラッグフリー:薬物乱用のない社会)社会創りです。  
高齢者も、障害を持つ方も、国民誰もが安心して暮らし、元気で生活を送ることのできる長寿社会を創るために何が必要か、を政治活動の根底においています。  
好きな言葉「昨日の夢は、今日の希望、そして明日の現実」
- 活動報告  
参院議員厚生労働委員会理事として、食品安全確保のための食品衛生法改正、健康増進法改正、薬事法改正、薬剤師法改正、クリーニング業法改正、国民年金法改正等に関与。
- 経歴  
昭和37年 岡山大学教育学部附属中学校卒業  
昭和40年 岡山県立岡山操山高等学校卒業  
昭和44年 東京大学薬学部薬学科卒業  
昭和44年 厚生省入省  
平成9年 厚生省退官  
平成9年 財団法人ヒューマンサイエンス振興財団専務理事  
平成12年 日本薬剤師連盟 副会長  
社団法人日本薬剤師会 常務理事  
平成13年 参議院議員(1期目)  
平成16年 厚生労働大臣政務官  
(平成16年9月~平成17年11月)  
平成19年 日本薬剤師連盟 顧問  
平成22年 参議院議員(2期目)
- その他  
慶應義塾大学薬学部 客員教授  
昭和大学薬学部 客員教授  
東邦大学薬学部 客員教授  
新潟薬科大学 客員教授  
京都薬科大学 客員教授  
近畿大学薬学部 客員教授  
千葉大学薬学部 非常勤講師